

# ①抗ミュラー管ホルモン(AMH)参考基準範囲

AMH測定値の年齢別分布(中央値)

※RI: Reference Interval

年齢(歳)	N(例)	中央値(ng/mL)	95% RI(基準範囲)(ng/mL)
≤ 27	558	4.69	0.76 ~ 14.18
28	387	4.27	0.84 ~ 12.44
29	555	4.14	0.86 ~ 11.97
30	663	4.02	0.79 ~ 12.74
31	865	3.85	0.44 ~ 13.08
32	872	3.54	0.62 ~ 13.87
33	959	3.32	0.40 ~ 12.76
34	1,064	3.14	0.38 ~ 11.16
35	1,191	2.62	0.37 ~ 10.18
36	1,122	2.50	0.33 ~ 9.93
37	1,154	2.27	0.24 ~ 8.50
38	1,230	1.90	0.11 ~ 7.81
39	1,176	1.80	0.13 ~ 7.45
40	1,057	1.47	0.08 ~ 6.13
41	888	1.30	0.06 ~ 5.52
42	715	1.00	0.05 ~ 5.81
43	509	0.72	0.03 ~ 4.49
44	309	0.66	0.03 ~ 3.98
45	144	0.41	0.03 ~ 3.43
46 ≤	127	0.30	0.02 ~ 1.67
全群	15,545	2.36	0.12 ~ 10.67

\* JISART (日本生殖補助医療標準化機関) 各施設に通院する不妊症患者で当試薬を用いて測定した 16,526 例のうち、多嚢胞性卵巣 (PCO) (939 例) および早発卵巣不全 (POI) (42 例) と診断された症例を除外した後の、女性 15,545 例の AMH 測定値の年齢別分布 (中央値) をノンパラメトリック法により求められています。

(国内検討データ 試薬添付文書より)

## 【判定上の留意事項】

日本産科婦人科学会 生殖・内分泌委員会 生殖医療リスクマネジメント小委員会の報告では、AMH 測定に際して留意すべき事項として次の4項目が挙げられています。

- ① AMH は卵子の質とは関連しない。
- ② AMH の測定値は個人差が大きく、若年女性でも低い場合や高齢女性でも高い場合があり、測定値からいわゆる「卵巣年齢」の推定はできない。
- ③ 測定値と妊娠する可能性とは直接的な関連はなく、測定値から「妊娠できる可能性」を判定するのは不適切と考えられる。
- ④ 測定値が低い場合でも「閉経が早い」という断定はできない。